



羅臼町議会だより



しれとこ

第3回臨時議会・第4回定例議会	2~3
一般質問	4~8
決算特別委員会報告	9
議会報告会	10
Zoom up! (地下資源活用視察研修)	11

平成28年
第147号
 2月25日



お母さんと一緒に鮭学習「鮭ってすごい」

平成
27年

第3回臨時議会・第4回定例議会

去る11月25日、12月11日に臨時議会・定例議会が行なわれ、すべて原案通り可決しました。

第3回臨時議会

一般会計補正予算 **1,738万円追加**
総額 36億7,465万円

総務費	知床・羅臼まちづくり基金積立金	110万円
	ふるさと納税に要する経費	526万円
	知床ブランド化推進事業	300万円
	介護・医療職移住体験モニター事業	235万円
	少子化対策支援事業	165万円
	観光ガイド養成事業	305万円
教育費	給食配送業務委託料	96万円

羅臼から
「ありがとう」の
気持ちを込めて



とっておきの
海の幸を
お届けします。

第4回定例議会

一般会計補正予算 **4,299万円追加**
総額 37億1,764万円

総務費	消防事務組合負担金	△245万円
	知床・羅臼まちづくり基金積立金	152万円
	公有財産購入費	334万円
	町税還付金	85万円
	マイナンバーカード交付事業	49万円
	道知事・道議会議員選挙費	△93万円
	町長・町議会議員選挙費	△398万円
	ふるさと納税に要する経費（追加）	648万円
	知床・羅臼まちづくり基金積立金（追加）	552万円
民生費	障がい者自立支援扶助費	520万円
	特別会計繰出金	1,225万円
	後期高齢者医療費負担金	△267万円
衛生費	国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	△120万円
農林水産業費	北方領土隣接地域振興等事業	1,610万円
商工費	温泉供給施設修繕費	95万円
教育費	中学校建設事業費	78万円
	幼稚園就園奨励費	△94万円

国民健康保険特別会計補正予算

2億337万円減額

総額

9億8,759万円

保険給付費	診療報酬保険者負担金	9,800万円
	高額療養費給付金	1,900万円
共同事業拠出金	高額療養費共同事業医療費拠出金	△2,900万円
	保険財政共同安定化事業拠出金	△30,500万円
諸収出金	返還金	1,362万円

水道事業会計補正予算

364万円追加

収益的収入支出	営業外費用・消費税	364万円
---------	-----------	-------

後期高齢者医療特別会計補正予算

39万円減額

後期高齢者医療広域連合会納付金	△39万円
-----------------	-------

町長の行政報告から

「知床らうす国民健康保険診療所」の指定管理の継続について

指定管理の契約期限を迎えることから、引き続き社会医療法人 孝仁会と契約期間の延長をお願いしました。

高齢者叙勲の受章について

元羅臼消防団第四分団長の森野昭一氏（岬町）が高齢者叙勲（瑞寶単光章）を受賞されました。

麻布歯科診療所の歯科医師の交代について

7年間に亘り勤務しておりました、庄司 周先生に代わり、名古屋市出身の船越 誠先生が着任しました。

ふるさと納税の申し込み状況について

12月1日よりスタートした、知床・羅臼まちづくり寄付金（返礼制度導入）のふるさと納税は、12月9日現在で270件、5,265千円の寄付の申込みがありました。

条例改正

- ・ 知床・羅臼まちづくり寄付条例の一部を改正する条例制定
- ・ 職員の給与の特例に関する条例制定
- ・ 羅臼町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例制定
- ・ 羅臼町町税条例の一部を改正する条例制定
- ・ 羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
- ・ 羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例制定

鮮魚取扱高

（平成27年12月9日現在）
（単位：千円）

魚種名	当期取扱高	前年度同期取扱高
ほっけ	135,509	369,173
ます	246,777	55,031
いか	1,781,853	2,390,539
すけそ	925,124	796,059
かれい	133,963	123,271
めんめ	187,408	247,392
うに	90,448	93,245
あきさけ	3,951,508	4,258,909
その他	1,556,920	1,522,178
合計	9,009,510	9,855,797

※主な魚種（抜粋）

※うには殻つき、塩水うに含む

訂正

※議会だより146号の鮮魚取扱高の文章中『「すけそ」についても1億2千万円の減少となっていますが』は『1億2千万円の増加となっていますが』の誤りです。

お詫びして訂正致します。

「秋鮭」は昨年に比べ、三億円の減少、期待していた「いか釣り漁」も六億円も減少するなど、総額で八億四千万円の減少となっています。



行政の考えを問う

5議員による12件の質問が提出され町長の考えを問いました。

平成27年12月11日

第4回定例議会

一般質問

議員 坂本
人口減対策として子供の医療費無料化など子育ての経済的支援を

町長
子育て支援は総合的に検討し実行していく

議員 坂本 志郎



質問

子育て支援を目的に子供の通院・入院の医療費助成を中学生や高校生まで拡大する自治体が、五年前の四倍に増えています。(道内一七九市町村の六割一〇四市町村が実施)。羅臼町で高校生(八六〇人)まで無料化するのに必要な財源は二、二〇〇万円、〇才〜三才(一七〇人)までの乳幼児の無料化に必要な財源は、五三六万円です。標津町は

高校生まで医療費は無料です。

自治体によって子供の医療費負担に不平等が起きています。

少子化の進行はいつその人口減少をもたらし、未来を担う子供たちの健全な成長にも大きな影響を及ぼします。私は子育て家庭の経済的負担を軽減する事は人口減対策・少子化対策の重要施策と考えます。

議員 湊屋 町長

子育て家庭の経済的支援については、第三子以降の出産に対してお祝い金十万円、幼稚園の入園料三千円助成、又、十二月からは子育て支援センターにて一時預かり事業や子育て中の母親のフレッシュ事業を開始しました。さらに幼稚園の利用

料金の軽減を実施していません。

子育て支援に特化した医療費の無料化の提案については、現在の町の財政状況を見ながらできるところから行っている状況です。

これからの行財政運営の考え方は

議員 坂本

町長

白羅に合わせた財政構造を身の丈に合った独自の構築する

質問

私は、これからの行財政運営の課題は「環境・福祉・教育文化型財政」への転換ではないかと考えています。その意味では、特に大規模建設事業については、十分な検討が必要と考えます。町の財政は弾力性のない状況が続いています。しかし、町民サービスを下さ

せない本町の行政改革としてやれる事はまだあるはずで、そのための知恵が必要です。人件費・投資的経費・物件費・補助費など、「身の丈に合った」この視点で見直しが必要と思います。

議員 湊屋 町長

確実にそして安定した歳入確保のため「ふるさと納税」事業の拡充を目指す。また、一方では国保会計や水道事業会計の繰り入れや中学校建設に伴う支出等があり、このための財源として、約七億円の財政調整基金(貯金)の取り崩しが必要となる可能性、また人口減少の観点から職員定数の見直しも考えられます。これからの行財政運営は町民とともに考え、行政サービスに努めながら身の丈に合った財政構造を構築しなければならぬと考えます。

坂本議員その他の質問

※地熱発電に関して

高島議員 地下熱資源の活用について

町長 高島議員
 温泉水の安定供給を図る事が重要



高島 讓二議員

- ② 周辺環境におけるメリット、デメリット
- ③ 先進地、大分県の視察研修の結果と考察について
- ④ 将来の活用について

湊屋 町長

- ① については十二月末までに化学分析や電磁波探査を実施し、来年三月末までには調査結果の報告が予定されている。
- ② 具体的な事が決まっていないのでどのような影響が出るか答えられないが湯量の安定供給が図られる場合、周辺環境に影響が出ないよう進める。

自然エネルギーによる発電をもっと活用すべきとして、我が町にも地熱の調査依頼が数社からあり、四月にオリックス株式会社と調査の協定を締結しました。そのため、地下資源活用に関する地域協議会が結成され、十一月には関係者と議員による視察研修を先進地、大分県にて行っております。

① 調査の進捗状況について

① 調査の進捗状況について

や地熱を活用した取り組みを理解した。

④ 温泉水の安定供給を図る事が重要と考える。

調査結果で安定的な地下資源が見込めると判断できた場合、地熱発電計画や事業内容について地域住民や関係機関、事業者等の理解が得られるよう進める。

防災について

高島議員

町長 国や道に要望していく

近年、異常気象により全国各地で災害が発生し、多くの人々が犠牲となっております。

我が町においても、昨年度は土砂災害、高潮被害、数度に見舞われた一年だったと思います。災害に対する

① 高潮対策について

② 暴風雪対策について

③ 雪崩対策について

④ 土砂崩れ対策について

⑤ 安心安全に住むための、町民に対する防災意識の啓発について

湊屋 町長

① については、五カ所で建設海岸の整備が継続され平成二十八年より海岸町一・二と岬町の整備が開始予定となっている。

高潮対策は、道に対し強く要望する

② 国道が通行止めにならないようシェルターの延伸や防雪柵の増設など暴風雪対策を国に対し要望する。通学路の確保、安全についても国や道に要望する。

町内の除雪協力体制については今後も、住民の皆様にご理解とご協力をお願いする。

③ 国と連携し、防止対策に努める。通学路は雪崩予



礼文町の高潮

防にネットを張り笹刈り、定期点検による対策をし、人家については、道に要望する。

④ 現在、相泊の三か所については、応急処置を実施、本格復旧は来年度の見込みである。

⑤ 防災訓練を継続し防災意識の啓発に取り組み。

今年度から登録制の防災メール配信をはじめた。毎年、道や気象台などと情報交換し、迅速な行動がとれるよう進めているが、町民の防災意識向上が必要であり、自らが減災に向けた行動をとるようお願いする。

加藤議員 介護職員の人材育成について

町長
マンパワーの確保を進めていく

加藤 勉議員



人材育成は、益々重要になると考えるが、羅臼町としての取組をお伺い致します。

湊屋 町長

近年、当町においても地域で安心して暮らせるための医療機関の整備や介護施設の増加など、徐々に地域包括ケアの推進体制が充実されている。

三月に作成された第六期羅臼町保健福祉計画によると、羅臼町の十年後の人口推計では、介護を必要とする要介護認定者は六十五才人口の二六・八％に増加すると想定している。老々介護を始めとする介護困難家庭の増加が予想されている。

一方でマンパワーの不足により、十分なサービスの提供ができないとの声も聞こえるなど、専門職の確保に苦慮している状況も理解している。町民が安心して住み続けられる町づくりのために、保健・医療・福祉・介護の連携やスタッフの充実が不可欠であることから、保健・医療・福祉・介護職における「高校生進路セミナー」を羅臼高校において開催しています。

また、羅臼高校生について資格取得講座の開催を検討していきます。さらに、介護職の潜在的有資格者の発掘や、介護職員や看護師等の人材確保のため「介護・医療職移住体験モニター事業」を実施しています。

※マンパワーとは

労働力（人員）。仕事などに投入できる人的資源のこと。



ふくろうの郷



福寿園

加藤議員 国道335号線の雪崩防止について

加藤議員

町と国道管理者との連携を深め、引き続き雪崩対策を要望していく

町長

湊屋 町長
当町唯一の幹線道路である国道は、経済・観光・住民生活・医療救急活動など唯一生命線となる道路であり、昨年三月の雪崩では二日間の通行止めとなった。本年八月には現地立会を行う等町と国道管理者の連携を深めてきており、継続的な連携を進め引き続き要望します。

質問

昨年二月から三月にかけて、国道の通行止めや高齢者住宅の除雪のため、自衛隊に出動を要請するなど豪雪により住民生活に多大な影響を与えた。特に生命線である国道三三五号線の通行止めは住民生活に不安を生じさせた。国道三三五号線の通行止めは雪崩によるもので、これから本格的な積雪シーズンを迎え、国道三三五号線の防雪対策についてお伺いします。



国道の雪崩

議員 宮腰
羅臼漁協の大規模減船による乗組員の就業対策は

長 羅臼漁協などと協議し対策を講じてまい町りたいたい

宮腰 實議員



一人でも多くの人が羅臼町で暮らせる対策が急がれると思います。

湊屋 町長

詳細な内容の報告は受けていないが、概要説明では刺網漁業で四十一隻の減船六十一名の組合員の完全脱退など大変厳しい内容の報告を受けている。職を失われると思われる人数は、漁協の推計で漁船漁業で六十名から七十五名、根付漁業で五十名程度と聞いている。約百二十名が職を失われる事は町の経済に大きな影響を及ぼし、人口流出も懸念されることから、今後情勢が明らかになった時点で羅臼漁協などと協議し対策を講じてまいりたい。

質問
大規模減船の噂が町内あちこちで聞かれますが、既に詳細な報告が届いていますか。減船により多数の乗組員が職を失うと思われませんが、予想される人数と就業対策は如何でしょうか？
致し方なく町外に仕事を求める人も多数おられると思われます。このことは、即刻人口減に繋がりが、ひいてはすべての職種を圧迫する事と懸念しております。



羅臼漁協

世界自然遺産のエリアをウルップ島まで拡大

宮腰議員

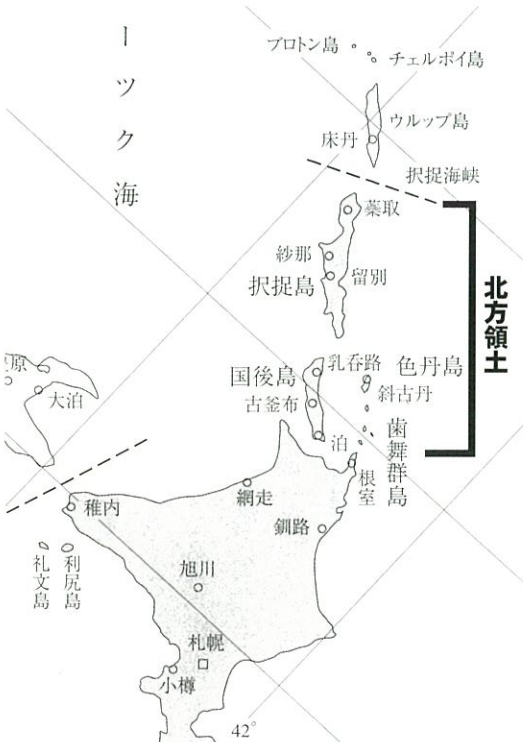
町長 北方領土返還の粘り強い運動を進める

質問
私は、世界自然遺産のエリアを、北方四島を含むウルフ島まで拡大し、流氷

がもたらす類まれな自然環境を良好な状態で未来まで保つことが大切と考えます。我が国固有の領土である北方四島は戦後七十年を経た今も未だロシアの実効支配下にあります。羅臼の漁民は、これまで国境の海の悲哀を味わってきました。また近年は、トロール漁船の乱獲や温暖化のため、スケソウダラやホッケの枯渇に喘んでいます。将来を見据えた持続可能な漁業に向けた方策を模索すべきです。

湊屋 町長

北方四島を含む日露の隣接地域における生態系の保全は、非常に重要と認識している。しかし、ロシアと共同で世界遺産として推薦することは、あたかもロシアによる北方四島の不法占拠を我が国が認めたかのごとき行為で適当ではないとの国の見解が出されており、当町におきましても遺産の拡大については状況を見守りながら今後も北方領土返還の粘り強い運動を進め、引き続き政府に対して北方領土問題の早期解決を強く求めてまいりたい。



田中議員 新設の中学校の進捗状況について

町長 実施設計は二月に完成予定

田中 良 議員



質問

現在進めているところの新中学校の進捗状況について

- ①校舎等の実施設計の時期や予算はどの程度と考えるのか。
- ②校章や校歌等の進捗状況はどの様になっているのか。

湊屋 町長

基本設計を基に委託業者と検討協議・微調整等を

氏からご厚意の話もあり、吉 幾三氏に依頼する方向性が示されました。

行ってきたところで、これを受けて十一月四日、学校教職員を中心に意見・提案等の確認を行ったところであります。間もなく議員・PTAをはじめ町民の皆様へ提示すべく作業を進めている段階です。なお、実施設計の最終完成予定は、二月を予定しております。

次に、予算についてです

が校舎・外構工事・旧校舎解体費・備品購入費等のほか予定している必要経費を含め、約二十六億円程度と考えています。

校章・校歌等の進捗状況についてはですが、校章については十二月一日から二月五日までの期間でデザインを公募しております。また校歌については、選考委員会において羅臼町観光大使に就任いただいた吉 幾三

◀東立面図



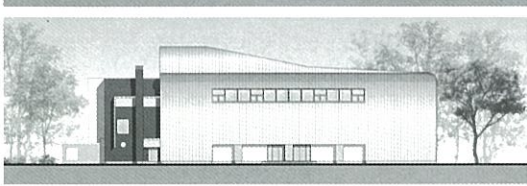
▶南立面図



◀西立面図



▶北立面図



※完成予想図

幼小中高一貫教育の取り組み、又、教育施設の今後の保全について

田中議員

町長

総合的な視野に立って各種施策に取り組んでいる。

質問

- ・少子化等による児童の減少について
- ・教育施設をどの様に活用して行くのか

湊屋 町長

子育て支援センターをはじめとする子育て支援の取り組みや幼稚園の延長保育の実施、放課後児童クラブや幼稚園入園料の補助等、各種施策を実施している。教育施設はそれぞれ必要な修繕を加えながら維持・補修・管理し、町民のニ

ズに応えながら活用を図って行かなければならないと考えている。そのためには町の経済を支える産業の振興が必要であり、現在、総合的な視野に立って各種施策に取り組んでいる。

田中議員その他の質問

- ・豪雨・高潮・豪雪等の災害対策について



放課後児童クラブ

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場議会事務局までお問い合わせ下さい。

**決算特別委員会
総括質疑事項
(平成二十六年)**

決算特別委員会報告

当町の財政構造は、地方交付税への依存度が非常に高く厳しい状況にあり、今後は新たな自主財源確保に向け、積極的に研究と施策の展開活動をしていただきたく願います。

いずれにしても地方自治体を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。最小限の経費で最大の効果を得られるよう、不断の努力を望むところです。

最後に、理事者、職員の皆さんに対し、本決算審査の円滑な運営にご協力頂いた事にお礼を申し上げ、平成二十六年度羅臼町各会計歳入歳出決算六件について、本委員会は全員一致で認定すべきものと決定しましたので報告いたします。

平成二十七年十二月十一日

羅臼町各会計決算特別委員会

委員長 田 中 良

今後の図書事業について

図書館バスは現在運行できない状況にあり、保護者であるお母さん達から不安の声が聞かれるが今後の考え方をお聞かせ下さい。

町長

図書室が狭くご不便をかけていますが、少しでもスペース確保できる対策をとりながら今しばらくは現在の状況でと考えております。図書館バスについては完全に運行不能となり、運行停止は約二ヶ月経過しておりますが、バスは特殊車両であり高額であることから、早い時期に町民の皆様へ存続の方向にあるとお伝えできればと考えております。

水道及び浄化槽などのインフラ整備について

合併処理浄化槽の普及率

が低い要因として市街地の普及に問題があるため、生活排水等が長期間にわたり

河川や海に流される。世界自然遺産の町として環境面から見てこの際、市街地について

は合併処理浄化槽から下水道へ転換する等の対策があると思うが考え方を聞かせて下さい。

副町長

手狭な土地等の問題や設置に当たっては公平性から税等の滞納には全納しなればならない等の制約もあり普及推進に繋がらない。特に市街地においては、個々に難しい問題があることから、流末に共同の処理層を設置し住民はそこに繋ぎ、きれいな水として流すことが可能かどうか調査等コンサルも念頭において検討してみたいと考えております。

水道事業の老朽管入れ替えは、あとのくくらいで完了するののか。

町長

今後、十六年間くらいかけて実施していく予定です。

財政調整基金及び財政について

財政調整基金の平成二十七年予算時では七億六千万だが、いくら取り崩しても常に一定額の基金として十億円程度確保することが必要であり、それが安定的な財政運営につながる。また、財政運営の具体策として「人件費の削減」或いは「ふるさと納税」の実施など示されておりましたが、具体的にその数値や日程的なものをお聞きます。

町長

歳出の1/4を占める人件費の削減については、現在職員組合とも交渉しているところであり、具体的な数値はまだ出ていませんが、ここ一、二ヶ月の間に方向性は見えてくると思います。「ふるさと納税」については、十一月末か十二月初めにスタートさせて、反応を見ながら今年度末までの実績を踏まえて、次年度に

向けて返礼品など内容を検討することになると考えます。

羅臼町の将来にかけての人口減に対し、職員数にも影響がある。(例えば)定年等で退職する職員数に対し、新規職員数など、今後の羅臼町の実情に見合った職員数の考え方があればお聞きしたい。

副町長

今まで進めてきた行財政計画にある職員数については、ここ十年の間に数十人程度の減を実施して参りました。今後の見込みとしては、二園ある幼稚園が人口減により一園化となることから、幼稚園教諭の縮減が図られる。また、来年三月末に定年退職する職員三名に対し一名の新規採用となっていることから、人口減に伴う役場職員の減も当然見込まれるのでしっかりと計画を策定したいと思っております。

議会報告会 スタート

昨年十月三十一日、当議会は羅臼漁業協同組合理事・監事の御理解の下、初の議会報告会を開催することができました。

当日は田中組合長始め理事九名、監事三名の御出席をいただき、議会運営委員長を進行役に約一時間半の予定で始まりました。所属委員会ごとに各議員を紹介した後、本題の議会報告に入り、総務民生・経済文教の両委員長より補正予算、条例改正、意見書について当時製作中の議会だよりの関連記事を参考にしながら、それぞれ所管する議案の可決内容を説明・報告致しました。また、人事案件や特別委員会設置については議長より説明しました。最後に、三議員より七件の質問が提出された一般質問については、質問した議員がそれぞれ質問内容と町長よりの回答を簡略に説明し、質疑・応答の後、第一回報告会を終了しました。

この報告会は、一昨年設置された議会改革推進特別委員会の中で協議・決定された改革案のひとつで、より開かれた議会、より町民の皆様身近な議会を目指して、協議と準備を重ねてきました。これまでも、議会の運営方法をはじめ、全道でも発行開始が早かった議会だよりの充実、ホームページの開設等、町民に議会への関心を高めて

いただく努力をして参りましたが、更に努力をして参りたいと決意を新たに報告会をスタート致しました。管内においては別海・中標津両議会が数年前から開催しており、開催方法や現在の状況をお聞きしていますが、出席者が固定されてきている等の課題が出てくることとです。しかし、この活動は継続することによって、一人でも多くの皆さんの御理解を得られるものと考えています。

この報告会は各定例議会終了後、一か月以内を目途として年四回の開催を予定しています。勿論対象者は全住民の皆さんですが、当面は町内の各種団体に報告会開催のお願いをして、回を重ねていきたいと思えます。更に議会も運営方法や内容に工夫を凝らして、有意義な会に成長させたいと考えています。

近年、地方自治体議会に於いては議員のなり手が少なく、無風選挙や定員の削減が常態化してきています。当議会に於いても二期連続定員内となり、これからも厳しい状況が継続されるのではと思っています。その解消のためにも当議会の更なる活性化への努力が必要です。今後も議員全員で推進していきたいと思えます。

議長 村山 修一



Zoom up!

地下資源活用視察研修

11月9日～11日

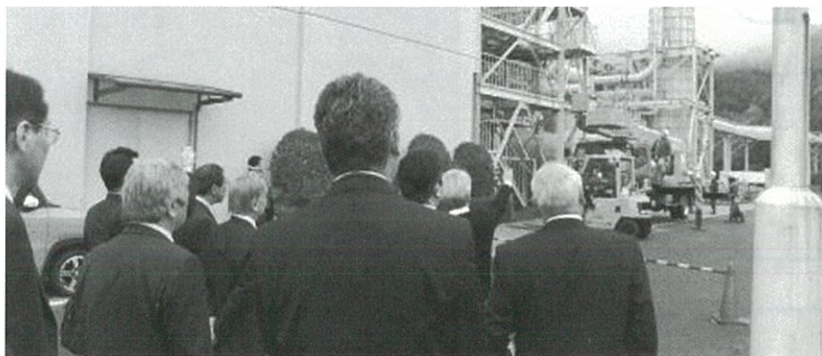
町内から豊富に湧出する温泉をクリーンエネルギーとして有効に活用する方法を研修するため、経済産業省の補助を受け、羅臼町と議会、関係団体による視察研修を行った。

十一月九日から十一日の

八丁原発電所

別府市内から車で三十分程の九重町の山の中に有る国内最大の発電量を誇る地熱発電所で、二機のタービンで一〇、〇〇〇Kwの出力を持ち、地下三千メートルからマグマの熱で高い温度になった地下水を取り出して発電に使い、残った熱水は再び地下に戻すという循環型の施設です。

説明員から施設の概要を聞き、静かに回る二機のタービンを見学しました。



日程で大分県別府市を訪れ、九州電力が運営する「八丁原発電所」、大分県農林水産研究指導センターが運営する「花き栽培施設」、温泉ホテルが運営する「杉乃井地熱発電所」の三ヶ所の視察を行いました。



花き栽培施設

大分県が運営する栽培センターで、地下三五〇メートルから熱水を取り出し、温室の中に配管して、花きの試験研究、研修指導、優良種苗の配布、観賞用植物の展示を行っています。余った熱水は外部団体に提供しています。



杉乃井地熱発電所

温泉ホテルが設置した地熱発電所で、一、九〇〇Kwの発電量で、ホテル内の冷暖房、温水プール、イルミネーションなど、ホテルで使用する電力のうちの約四十六%を賄っています。

議会の動き

11月

- 9日～11日 地下資源活用に関する視察研修 (大分県) 議員全員
- 13日 全国過疎地域自立促進連盟総会 (東京都) 議長
- 18日 総務民生・経済文教合同常任委員会 議会運営委員会
- 25日 第3回臨時議会

12月

- 4日 第2回根室北部消防事務組合議会定例会 (別海町) 正・副議長ほか
- 7日 議会運営委員会
- 8日 経済文教常任委員会
- 9日 総務民生常任委員会
- 10日 議会運営委員会
- 11日 第4回定例議会 全員協議会 議会運営委員会
- 25日 平成27年度根室町村議会議長会 (第1回臨時総会 (中標津町) 正・副議長)

1月

- 4日 平成28年度羅臼消防団出初式 議長
- 7日 議会だより編集特別委員会 平成28年羅臼町成人式
- 28日～29日 議会だより編集特別委員会

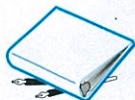
2月

- 7日 「北方領土の日」根室管内住民大会 (根室市) 議長



皆様方には、おだやかな新年を迎えられた事と存じます。昨年とは異なる気象に被害を受けた年でありましたが、本年は災害を被らないよう、また豊漁でありますようにと願うばかりです。本年も皆様に親しまれる議会だよりを目指して参ります。ご意見等ございましたら、ご連絡をお願いします。

編集を終えて



ふるさと納税

ふるさと納税とは、自治体に寄付をすると税金の控除が受けられる制度です。(企画振興課 TEL 87-2114)

申込件数 717件 申込金額 14,483,101円 (平成28年1月24日現在)

北海道	68件
青森県	1件
岩手県	0件
宮城県	6件
秋田県	3件
山形県	2件
福島県	2件
茨城県	6件
栃木県	2件
群馬県	6件
埼玉県	52件
千葉県	42件
東京都	180件
神奈川県	76件
新潟県	4件
富山県	1件
石川県	3件
福井県	1件
山梨県	1件
長野県	9件
岐阜県	10件
静岡県	13件
愛知県	38件
三重県	12件
滋賀県	9件
京都府	19件
大阪府	47件
兵庫県	32件
奈良県	6件
和歌山県	5件
鳥取県	1件
島根県	1件
岡山県	4件
広島県	10件
山口県	1件
徳島県	1件
香川県	3件
愛媛県	5件
高知県	1件
福岡県	14件
佐賀県	1件
長崎県	1件
熊本県	5件
大分県	5件
宮崎県	4件
鹿児島県	1件
沖縄県	3件

ふるさと納税で、知床・羅臼を応援してください



10,000～20,000円未満	527件	5,461,101円
20,000～30,000円未満	60件	1,240,000円
30,000～50,000円未満	83件	2,530,000円
50,000～200,000円未満	26件	1,770,000円
200,000円以上	10件	2,100,000円
金額設定なし	11件	1,382,000円

07 小樽 払込取扱票 払込料金加入者負担

027009960122 金額 14,483,101円

羅臼町会計管理者

振替払込請求書受領証

027009960122 羅臼町会計管理者

おとこ(印)

おなまえ

様

切取らないでお出ください

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号小票16855号) これより下欄には何も記入しないでください。